

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和5年度 年間授業計画 (1学年)

教科 : 芸術 科目 : 音楽 I
 対象学年組 : 第 1 学年 1 組 ~ 7 組
 教科担当者 : 磯川美香
 使用教科書 : Tutti+ 教育出版
 教科の目標 :

- 【知識および技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	曲想や楽曲の特徴を感じ取り、意図をもった演奏表現の力を養う。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的協働的な学習活動を積み重ねる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価基準	知	思	態	配当時間	
		歌	器	創	鑑賞						
1 学期	楽譜の読み方や記号等楽典内容を理解する。 曲想をとらえて校歌を歌唱表現する。	基礎的な楽典事項について理解をする。 正しい音程とリズムを理解し、旋律のフレーズ感や曲想表現へとつなげる。	○	○							26
	クラシックギターの基礎的な技術を習得する。 歌う喜びを表現する。	チューニングの仕方・タブ譜の読み方について覚える。 歌声づくりのエクササイズ	○	○		譜面上の様々な記号の意味を理解できたか。 強弱記号など、楽譜上の指示記号を歌唱表現に生かすことができたか。	○		○		
	鍵盤楽器の基礎的な技術を習得する。	各々の進度に合わせたスタート地点から練習する。(片手弾きまたは両手演奏など) アーティキュレーションや譜面の記号の意味を理解する。		○		チューニング方法やタブ譜の読み方をおぼえたか。 ギターの演奏方法をおぼえ、初歩的な楽曲を弾けたか。 発声方法に積極的に取り組んだか。	○		○		
	音楽鑑賞において、作曲家や時代背景について理解し、総合的に学ぶ。	楽曲鑑賞			○	音楽の流れを損なわず、鍵盤演奏ができたか。 片手演奏を達成し、さらに両手演奏への取り組みができたか。 強弱記号、アーティキュレーションなど曲想を感じ取った表現ができたか。	○		○		
	集団でおこなうリズム演奏で音楽演奏の一体感をつくる。	カップミュージック演奏	○	○		作曲家や時代背景に触れながら楽曲を味わうことができたか。 曲の構成や展開、効果等を考えながら楽曲を聴き取ることができたか。 リズムの流れにのることができたか。	○		○		
2 学期	クラシックギターでコード演奏を学ぶ。 ギター二重奏に挑戦し、独奏にはない響きを味わう。(タブ譜)	1~4種類のコード演奏の練習をする。 他者の音と合わせた響きを味わい、演奏が滞ることなく流れるように練習する。		○		課題のコードを押さえて、響きをつくることができたか。 他者と音を合わせ、調和させる意識を持ちながら演奏ができたか。	○		○	28	
	オペラの鑑賞を通して総合芸術の舞台表現について学ぶ。 合唱曲の表現をとおして声の重なる響きと音楽の深さを味わう。	音楽の特徴と文化的、歴史的背景を理解し、舞台上での発声やその表現などについて味わう。 発声を意識し、曲の特徴や表現の仕方を主体的に考えながらパート練習に取り組む。	○		○	オペラの様々な領域部門や構成について理解し、オーケストラの役割や発声、表現について味わいながら鑑賞することができたか。 発声方法に気を付け、全体の調和を考えながら合唱活動にのぞむことができたか。	○		○		
	鍵盤楽器を継続的に取り組むことで、演奏力をつける。	難易度の上がった楽曲演奏に挑戦する。音楽の流れを意識しながら練習する。		○		楽曲に合うテンポや曲の表情を考えながら演奏することができたか。	○				
	クラス内発表会の開催(2学期中旬からの準備) 2~3人のグループで器楽アンサンブルを学習し、演奏発表をする。	仲間とコミュニケーションをとりながら活動する力を積み重ねる。 他者の音をよく聴き、全体の調和をイメージしながら練習をする。		○	○	練習過程や全体の演奏イメージについて、主体的に関わられたか。 調和のとれた演奏に仕上げることができたか。			○		
3 学期	合唱コンクールの曲を表現豊かに歌い上げる。 他者との調和を意識しながらハンドベル演奏をする。	発声方法を意識し、響きのある声をつくる。 パート練習で旋律を正確におぼえる。(音程、リズム他) 各自が主体性を発揮しながら、グループ全体の響きや流れなどの共通イメージをもてるようコミュニケーションをとる。	○			発声方法に取り組み、響きのある声を出せたか。 パート練習には主体的に取り組み、曲表現について自分の意見をもてたか。 積極的に他者とコミュニケーションをとり、全体の響きや流れづくりができたか。 個別の役割に責任をもち、全体の調和を意識しながら楽曲を演奏できたか。	○		○	16	
				○	○				○		
合計									70		